

町田第二中学校・町田第二小学校・町田第六小学校・高ヶ坂小学校

進化する小中連携 深まる地域の絆

連携1 二中オープンスクールで中学校生活先取り



町田第二中学校校区では、以前から毎年10月に地域の3つの小学校の6年生全員を対象に、1時間の部活動体験と1時間の授業体験をしていました。昔から6年生の中学校への期待と不安と言えば、部活動と授業。その期待をいっそうふくらませ、同時に不安も取り除くために、部活動も授業も両方体験できる機会を設けています。

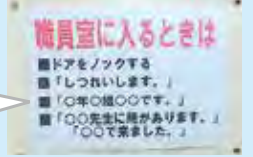
ドキドキ
ワクワク
楽しみだなあ！

連携2 「せりがやスタンダード」は9年間の約束



町田第二中学校に進学する3つの小学校は、それぞれ「町ニスタイル」「町六スタンダード」「高ヶ坂ファイブ」という学校生活の約束を作っていましたが、そこには微妙な違いも…。そこで、中学校の視点も取り入れて、9年間継続して指導できる共通の生活や学習の約束を作り、3年前から取り組んでいます。「どこの小学校から進学してきた生徒にも、同じことを言って通じる」と、中学校にも好評です。

こういうこまかいことも4校共通で約束して取り組んでいます。



長年の連携で培う理想の小中連携

ほぼ同じ規模の3つの小学校のほぼ全員が地元の中学校に進学するという特性をもつ町田第二中学校校区。昔から行っていた小中連携の取組を近年いっそう進化させています。ここではその一端を紹介します。

連携3 中学生から教わり、チャレンジ！学級対抗チームジャンプ

昨年度からスタートした小学校3校による連合運動会。目玉は学級対抗チームジャンプです。小学校の大縄は8の字跳びが主流ですが、各校の6年生が町田第二中学校に出かけ、先輩たちから直接指導を受けて中学校体育祭の種目にチャレンジします。



中学生のかっこいい姿を目標に、自校に戻ってからも練習を重ねましたが、やっぱり難しい！先輩は偉大です！



中学生が、小学生を励ましながらやさしくコツを教えます。



お兄さんやお姉さんと一緒にお迎えを待たれたから、すごく安心できたよ。

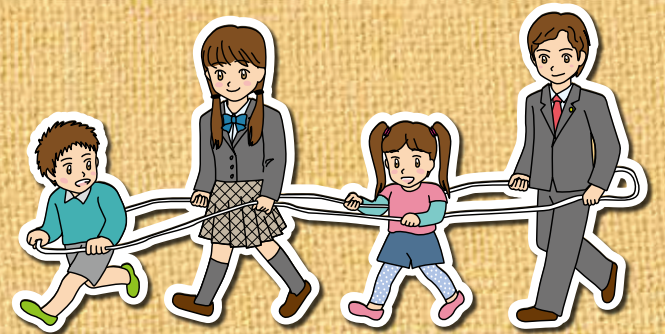
連携4 初の試み 小中合同引き渡し訓練



震災や集中豪雨などの災害対策を徹底するため、今年から新しい取組としてスタートしました。1ヶ所で子供たちを引き取りたい、という保護者の要望を聞いて、小学校に兄弟のいる中学生は教員引率のもと小学校に移してからの引き渡しとしました。

9年間の育ち支える、学びつなげる まちだの 小中連携

市立小・中学校では、小中9年間を見通して、小・中学校の教育活動の連続性を確保し、学力の向上に向けた取組や心身の発達段階に応じたきめ細やかな指導を行うため、地区ごとに小中が連携した様々な取組を行っています。



薬師中学校・藤の台小学校・本町田東小学校

3校で連携して取り組む 防災教育・学力向上

■防災教育～地区の小中で連携した引き渡し訓練～



薬師中学校から、小学校に合流



小学校で、小・中の子どもを引き取り

昨年度から2年続けて、3校で連携した「小中合同引き渡し訓練」を実施しています。

大規模災害を想定したこの訓練では、小学校に兄弟姉妹のいる中学生は、教員引率のもと小学校に向かい、弟や妹と一緒に保護者を待ちます。

保護者は、小学校へ向かえば子どもたちに会うことができ、非常時の混乱を少なくすることができます。

小学生は、袋を開けるだけで食べられる「救給力レー」という非常食を食べて保護者を待ちました。



救給力レーを体験

■学力向上の取組～学習の習慣作り、基礎学力の定着、読書活動の充実を中心に～

学力向上のための様々な取組を、3校共通の取組として実施しています。

①学習の習慣作り

藤の台小学校・本町田東小学校では、家庭学習の習慣を作るための「家庭学習の手引き」、薬師中学校では、主体的な学びの習慣を作るための「学習の手引き」を作成するなどして、保護者と連携しながら、学習の習慣作りに努めています。

②基礎学力の定着

- 算数チャレンジ…小学校では、基礎的な計算問題を中心とした独自の問題集に繰り返し取り組んでいます。
- 6年生基礎問題…卒業直前の小学6年生は、3学期と春休みに算数の基礎をもう一度確認するための問題集に取り組み、薬師中学校入学後に提出しています。
- 放課後学習教室、補習教室…放課後や長期休業期間中に、「東京ベーシックドリル」等を活用しながら、一人一人に学習内容の定着を図るための補充学習を行っています。

③読書活動の充実

考える力、読解力の向上のため、読書週間や朝読書により読書活動の充実を図っています。



▲本町田東小版 家庭学習の手引き「かがやけ東っ子」